

エコアクション21 環境経営レポート

2022年度運用版
(運用期間 2022年3月～2023年2月)



発行日 2023年6月31日

南西電設株式会社

本「南西電設環境経営レポート」は、エコアクション21の実施結果を取りまとめたものである。
南西電設株式会社 代表取締役社長 親泊 政夫

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	3
3. 取組の対象範囲	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画	6
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7
6-1.取組の実施体制	7
6-2.2022年度運用期間に実施した環境への取組内容	8
7. 環境経営目標の実績	10
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	11
9. 次年度の取組計画	12
9-1.環境経営目標	12
9-2.環境経営計画	13
10. 環境関連法規等の遵守状況・違反と訴訟等の有無	14
11. 代表者による全体評価と見直し・指示	15

1. 環境経営方針

【基本理念】

南西電設株式会社は経営理念の一つである「変わる勇気を持ち続けること」を基に、社員及び協力会社の一人ひとりが、一致団結して、刻々と変化する地球環境を良き姿で残していきます。

そのために、下記の環境活動を推進しながら、環境の改善と汚染予防に努めます。

1. 常に関連する法令とお客様との契約を遵守します。
2. 常に環境保全に努め、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくことを目指します。

【基本方針】

1. 南西電設株式会社における活動に関連し、環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。

- ① 廃棄物の分別および削減とリサイクルの推進
- ② 環境にやさしい、エコ製品の活用
- ③ 化石燃料のみではなく、再生可能エネルギーの活用
- ④ エネルギー消費の抑制による温室効果ガスの低減
- ⑤ 節水による水使用量の削減

2. 環境保全にかかわる法令・規則・条例等を遵守します。

3. 環境経営レポートを作成し、環境取り組みの状況を公表します。

4. 持続可能な開発目標(SDGs)に取り組みます。

5. 環境経営の継続的改善に努めます。

制定日：2021年2月15日
南西電設株式会社
代表取締役社長 親泊 政夫

当社は企業活動を通じて、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

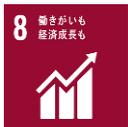


★質の高い教育をみんなに



- ・各種学校からのインターンシップ生の受入れをし、若年者の教育に貢献します。
- ・新入社員教育をスケジュール化し、充実した自社教育を行います。
- ・社内研修・社外研修・オンラインセミナー・CPD講座を積極的に受講します。
- ・国家資格の取得を支援し、講習会受講料、受験費用を会社負担とし、個人のスキルアップを図ります。

★働きがいも経済成長も



- ・ワークバランスの取組を推進するとともに、「フレキシブル退社制度」「現場リフレッシュ休暇」「バースデー休暇」「表彰制度」「自己投資制度」を運用し、働きがいのある職場を目指していきます。

★住み続けられるまちづくりを

★作る責任つかう責任

★気候変動に具体的な対策を



- ・本年度中のエコアクション21の取得を目指します。
- ・太陽光発電・LED照明を設置し、自然エネルギーの活用、省エネを推進します。
- ・廃棄物の分別・削減・リサイクルを推進し、エネルギー消費の抑制によって温室効果ガスの低減を図ります。

★パートナーシップで目標を達成しよう



- ・那覇市道路ボランティア清掃・所属団体のボランティア清掃等を通して、環境美化に努めます。
- ・サポートカンパニーとして、スポーツの振興に寄与します。

☆常に環境保全に努め、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくことを目指します。

2.組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

南西電設株式会社
代表取締役社長 親泊 政夫

(2) 所在地

本店 〒900-0016 沖縄県那覇市前島2-15-27 Asset前島1F
本社 〒901-2126 沖縄県浦添市宮城6-21-5

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者名：新垣 淳（専務取締役）
担当者名：横田 大河（営業部）
連絡先：TEL098-878-3576 FAX098-878-3847

(4) 事業概要

電気工事業・電気通信工事業
許可番号 沖縄県知事許可(特-2)第835号
許可年月日：2021年4月11日
許可期限：2025年4月10日

(5) 事業の規模

設立：1974年1月17日
資本金：3,000万円
売上高：840百万円(2022年7月期)

(6) 事業年度

事業年度：8月～翌年7月
エコアクション21の環境年度：3月～翌年2月

(7) 活動規模

活動規模	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
社員数	33人	32人	31人	31人
事務所床面積	427.0㎡	427.0㎡	427.0㎡	427.0㎡
倉庫床面積	25.3㎡	25.3㎡	25.3㎡	25.3㎡

3.取組の対象範囲

エコアクション21の認証・登録範囲は、以下のとおりです。

(1) 対象事業者

南西電設株式会社

(2) 対象事業所

本店、本社

(3) 対象活動

電気工事業、電気通信工事業

当社の事業紹介

1.官公庁施設事業(Public)

学校、図書館、公園、庁舎(役場)、沖縄防衛局施設な

2.民間施設事業(Private)

テナントビル、高層ビル、マンション・アパート、ホテル、病院などの建設工事における電気設備の施工管理業



3.上下水施設事業(Water Treatment)

浄水場、下水処理場、ポンプ場などの建設工事にお

4.電力施設事業(Power)

火力発電所・水力発電所の建設工事およびメンテナン



4.環境経営目標

- ・環境経営目標は、現在の事業活動を踏まえて、2020年度～2022年度までの中期目標として、以下の4項目11目標を設定しました。
- ・削減目標については2019年度を基準年として、その実績値から毎年1%ずつ削減し、2022年度運用期間までに3%削減を目指しました。
- ・なお、軽油使用量は、建設現場での前年度使用量が目標を大きく上回り、その原因が車両以外に重機燃料が考えられたため、本年度はこの使用実態を把握するため「現状把握」を目標としました。
- ・また、廃棄物排出量については、前年度に把握した実績値から新たに数値目標を設定しています。

環境経営目標項目	単位	基準年	目標		
		2019年度 実績値	2020年度	2021年度 (試行運用期間)	2022年度
		2019.3～2020.2	2020.3～2021.2	2021.3～2022.2	2022.3～2023.2
		-	(△1%)	(△2%)	(△3%)
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	106,708	105,641	104,574	103,507
(1)電力使用量の削減	kWh	31,534	31,219	30,903	30,588
	kg-CO ₂	24,817	24,569	24,321	24,072
(2)ガソリン使用量の削減	L	35,175	34,823	34,472	34,120
	kg-CO ₂	81,606	80,789	79,975	79,158
(3)軽油使用量の削減	L	110	109	108	現状把握
	kg-CO ₂	285	281	279	現状把握
2.水使用量の削減	m ³	136	136	136	136
3.廃棄物排出量の削減					
(1)一般廃棄物排出量の削減	kg	69,123※	不明	現状把握	6,770
(2)産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率)	%	89※	不明	現状把握	85
4.グリーン購入の推進	品目数	32	33	34	35

備考:・購入電力の二酸化炭素排出係数は、沖縄電力㈱の2019年度調整後排出係数0.787kg-CO₂/kWhを使用した。

- ・()内の数値は、基準年(2019年度)実績値に対する削減率を示す。
- ・化学物質は使用していないので、目標から除外した。
- ・廃棄物排出量の基準年実績値は2021年度試行運用期間の実績値※で示す。

5. 環境経営計画

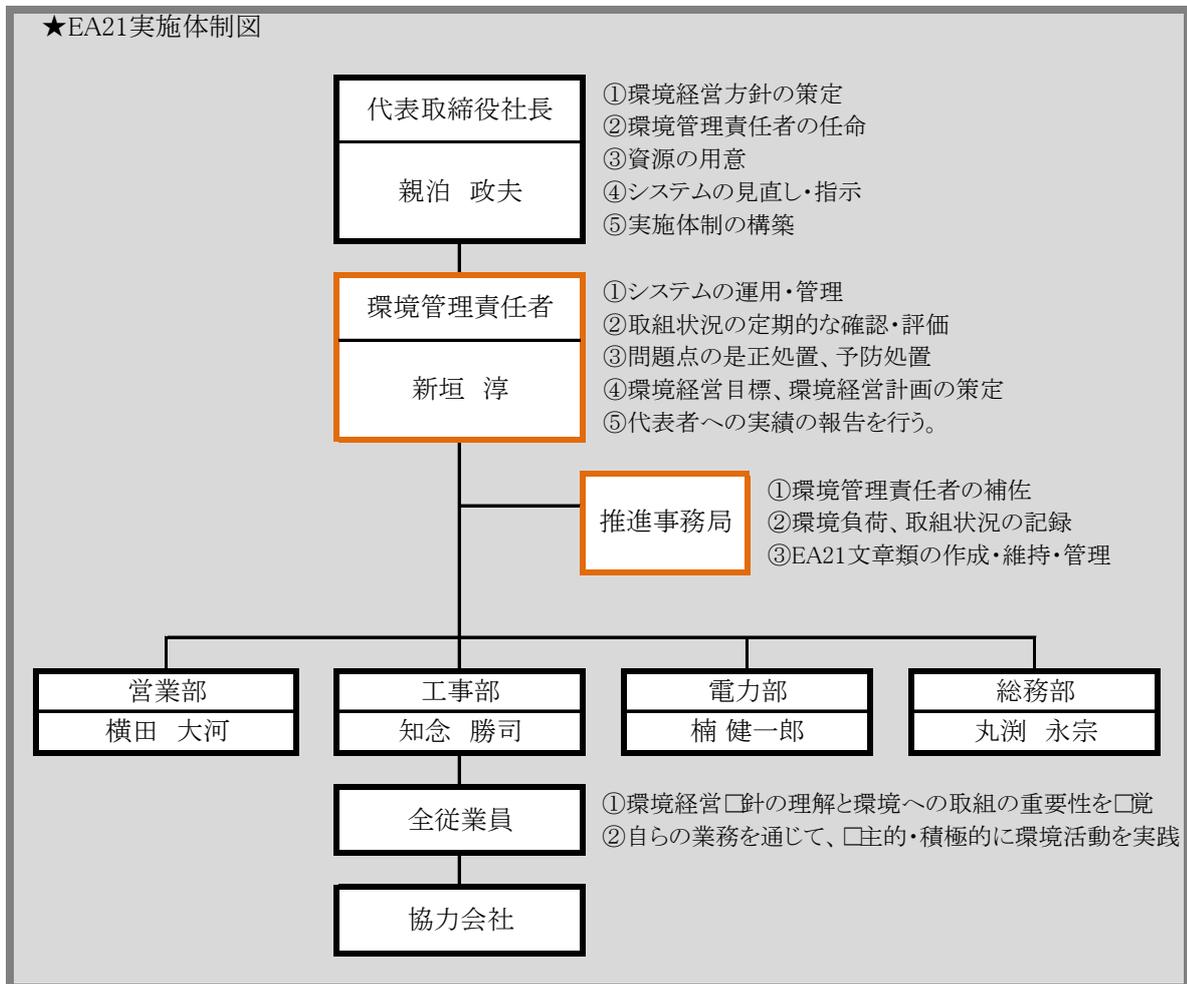
・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組(活動・管理・実施項目)を設定して、全社員で取り組みました。

環境経営目標項目		具体的な取組(活動・管理・実施項目)		スケジュール
1.二酸化炭素 排出量の削減	(1)電力使用量の削減	①調温度適正化・ 表示確認	適切な温度管理 夏冷房26度 冬暖房20度	冷房期:7月～9月 暖房期:12月～2月
			⇒エアコンに温度設定表示	通年
			⇒外出時・退社時には各部屋の最終退場者が電源OFFの徹底	通年
		②照明・PC電源 不要時のOFFの 推進	こまめな消灯励行 事務機器の節電	通年
			⇒外出時・退社時には使用しているパソコン・事務機器の電源OFFの徹底	通年
		③エアコン清掃の 実施	半年に一度の一斉清掃の実施	通年
	⇒月2回の4S清掃時にチェックし、特に夏期はフィルターの清掃をこまめにする		通年	
	(2)ガソリン使用量の削減	④エコドライブ 推進	停車中のアイドリングストップの実施	通年
			⇒運転方法の配慮 急発進・急停車・空ふかしなどをしない	通年
⑤建設重機の 省エネ運転		現場規模に見合った重機を使用する	通年	
	建設車両、重機の無駄なアイドリングを避ける、回転数の適正化	通年		
2.水使用量の削減		①節水の徹底	日常の節水・漏水の点検	通年
			節水の励行・洗車は必要最小限とする	通年
3.廃棄物排出 量の削減	(1)一般廃棄物排出量 の削減	①裏紙使用 ルールの徹底	チェック時や社内使用書類等の裏紙使用の徹底	通年
			⇒印刷ミス・ミスコピーの削減	通年
			⇒電子媒体(E-mail,スキャン,クラウド等)を活用し、紙資料の削減	通年
	(2)産業廃棄物排出量 の削減	①分別ルールの徹底	品目分別の細分化で資源ごみのリサイクルを推進する	通年
		②廃棄物現場の整備	分別ごみ置き場の設置 ごみを混ぜない	通年
		③産廃業者との契約書の確認	契約書の取交しの確認	通年
		④マニフェストの管理方法の確立	マニフェスト用紙を現場毎から工事部の一元管理	通年
4.グリーン購入の推進		①グリーン購入品の推進	グリーン購入の推進のための環境学習を取り入れる	通年
		②エコ商品の購入の推進	エコ事務用品の購入の拡大	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2022年度運用期間に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・取組を実施するに当たっては、社内に次のような実施体制を構築し、それぞれの役割を定めて、全社員が一丸となって取り組みました。

6-1 取組の実施体制



6-2 2022年度運用期間に実施した環境への取組内容

・環境経営計画に基づき、以下の取組をSDGs(17のゴール)と紐付けて実施しました。

1. 二酸化炭素排出量の削減



<事務所内の節電>

- ① エアコンの温度管理(夏冷房26℃ 冬暖房20℃)と外出・退社時の電源OFFを実施した。
- ② 照明・PC電源の不要時OFFを実施した。
- ③ エアコンの定期点検とフィルターの掃除を実施した。

<車両燃料(ガソリン、軽油)使用量の削減>

- ④ 車両の運転はエコドライブ(急発進、急停車、空ぶかし、アイドリングストップ等)を実施した。

<再生可能エネルギーの活用>

- ⑤ 太陽光発電設備を設置して、化石燃料以外の再生可能エネルギーを活用しています。



エアコンの温度調節



エコドライブの推



太陽光発電設備(9.2kW)



パワーコンディショ

2. 水使用量の削減



- ① 水使用場所(給湯室、洗面所、屋外給水器具)に節水シールを貼り、社員に節水を呼びかけた。
- ② 計画的に節水型器具・器材に設備更新を行っている



節水ポスター



節水型トイレに

3. 廃棄物排出量の削減



- ① 事務所内では裏紙使用ルールを徹底し、資源ごみの分別と排出量を抑制しています。
- ② 工事現場では発生した産業廃棄物の分別と適正処理(許可業者との処理契約、 manifests の発行と適正管理)を実施しています。



資源ごみの分別排出



manifests の適

4. グリーン購入の推進



- ① 事務用品はエコ商品を率先して購入しています。
- ② グリーン購入の推進のため、社内で環境学習を実施しています。



グリーン購入商品



社内環境学習会の

5. 社会貢献活動



那覇市道路ボランティア清掃(2013年5月より月1回実施)



沖縄県平和祈念公園ボランティア清掃(年1回実施)



高校生のインターンシップ受入れ



職業訓練生のインターンシップ受入

7.環境経営目標の実績

- ・2022年度運用期間における環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した4項目11目標のうち3項目8目標で達成でき、システム運用上の問題はなかったが、良好な結果とはなりませんでした。
- ・この状況を目標達成率で細かくみると、最大の環境負荷である二酸化炭素排出量については総量で104%の目標達成率で、削減目標の3%に対しては約6%の削減を達成できました。
- ・排出源別の目標達成率は、電気が105%、ガソリンが104%と良好な結果となりましたが、軽油は26%で目標値を大きく下回りました。この原因としては、1/4期に大型の現場が重なったために軽油の使用量が多くなってしまったと考えられます。今後は適度ある建設機械の利用を目指します。
- ・その他の目標項目では、グリーン購入が目標を下回りました。その理由としては、去年度の備蓄がまだ残っていたため、購入自体を控える結果となったからです。

環境経営目標項目	単位	基準年	2022年度運用期間 (2022.3~2023.2)		目標 達成率	目標 達成 判定
		2019年度 実績値	目標 (△3%)	実績		
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	106,708	103,507	98,944	105%	○
(1)電力使用量の削減	kWh	31,534	30,588	27,996	109%	○
	kg-CO ₂	24,817	24,072	22,005	109%	○
(2)ガソリン使用量の削減	L	35,175	34,120	32,689	104%	○
	kg-CO ₂	81,606	79,158	75,838	104%	○
(3)軽油使用量の削減	L	110	107	415	26%	×
	kg-CO ₂	285	276	1,075	26%	×
2.水使用量の削減	m ³	136	136	116	117%	○
3.廃棄物排出量の削減						
(1)一般廃棄物排出量の削減	kg	不明	6,770	6,912	98%	△
(2)産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率)	%	不明	85	35	41%	×
4.グリーン購入の推進	品目数	32	35	7	20%	×

備考:・購入電力の二酸化炭素排出係数は、沖縄電力㈱の2019年度調整後排出係数0.787kg-CO₂/kWhを使用した。

・()内の数値は、基準年(2019年度)実績値に対する削減率を示す。

・目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100 増加目標の場合: 実績÷目標×100

・目標達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

・環境経営計画で設定した活動項目については、全体として適切に実施することができました。
 ・次年度は、今年度目標未達となった項目を中心に、重点項目として位置づけ、その取組を周知徹底することで目標達成を目指します。

環境経営目標項目		目標達成判定	具体的な取組(活動・管理・実施項目)		実施状況判定	評価	
1. 二酸化炭素排出量の削減	(1) 電力使用量の削減	○	① 調温度適正化・表示確認	適切な温度管理 夏冷房26度 冬暖房20度	○	・二酸化炭素排出量は目標を達成し、電気使用量も事務所内照明のLED化やこまめな消灯、エアコン温度の管理等が適切に実施でき、目標達成に繋がった。 ・今後も引き続き、取組の周知・徹底を心がけたい。	
				⇒エアコンに温度設定表示	○		
				⇒外出時・退社時には各部屋の最終退場者が電源OFFの徹底	○		
			② 照明・PC電源不要時のOFFの推進	こまめな消灯励行 事務機器の節電	○		
				⇒外出時・退社時には使用しているパソコン・事務機器の電源OFFの徹底	○		
				③ エアコン清掃の実施	半年に一度の一斉清掃の実施		○
	(2) ガソリン使用量の削減	○	④ エコドライブ推進	停車中のアイドリングストップの実施	○		
				⇒運転方法の配慮 急発進・急停車・空ふかしなどをしない	○		
				(3) 軽油使用量の削減	×		⑤ 建設重機の省エネ運転
建設車両、重機の無駄なアイドリングを避ける、回転数の適正化	○						
2. 水使用量の削減		○	① 節水の徹底	日常の節水・漏水の点検 節水の励行・洗車は必要最小限とする	○	・引き続き、摂津委活動を定着させ、目標達成を目指していく。	
3. 廃棄物排出量の削減	(1) 一般廃棄物排出量の削減	○	① 裏紙使用ルールの徹底	チェック時や社内使用書類等の裏紙使用の徹底	○	・取組は適切に実施されている。 ・引き続き新たな目標に向けて取り組んでいく。	
				⇒印刷ミス・ミスコピーの削減	○		
				⇒電子媒体(E-mail, スキャン, クラウド等)を活用し、紙資料の削減	○		
	(2) 産業廃棄物排出量の削減	×	① 分別ルールの徹底	品目分別の細分化で資源ごみのリサイクルを推進する	○		
				② 廃棄物現場の整備	分別ごみ置き場の設置 ごみを混ぜない		○
				③ 産廃業者との契約書の確認	契約書の取交しの確認		○
④ マニフェストの管理方法の確立	マニフェスト用紙を現場毎から工事部の一元管理	○					
4. グリーン購入の推進		×	① グリーン購入品の推進	グリーン購入の推進のための環境学習を取り入れる	△	去年度の備蓄があり、購入自体を控えた結果となりました。	
			② エコ商品の購入の推進	エコ事務用品の購入の拡大	×	・できるだけ、グリーン購入の推進に努めたい。	

9.次年度の取組計画

9-1.環境経営目標

- ・次年度目標は、基準年を2019年度実績値として2023年度から2025年度までの中期目標として以下のように設定しました。
- ・2023年度は基準年より4%削減を目指します。

目標項目	単位	基準年	目標		
		2019年度 実績値	2023年度	2024年度	2025年度
		2019.3～2020.2	2023.3～2024.2	2024.3～2025.2	2025.3～2026.2
		-	(△4%)	(△5%)	(△6%)
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	106,708	102,440	101,373	100,306
(1)電力使用量の削減	kWh	31,534	30,273	29,957	29,642
	kg-CO ₂	24,717	23,728	23,481	23,234
(2)ガソリン使用量の削減	L	35,175	33,768	33,416	33,065
	kg-CO ₂	81,606	78,342	77,526	76,710
(3)軽油使用量の削減	L	110	106	105	103
	kg-CO ₂	285	274	271	268
2.水使用量の削減	m ³	136	131	129	128
3.廃棄物排出量の削減					
(1)一般廃棄物排出量の削減	kg	6,770	6,499	6,432	6,364
(2)産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率)	%	85	82	81	80
4.グリーン購入の推進	品目数	32	39	40	30

備考:・購入電力の二酸化炭素排出係数は、沖縄電力㈱の2019年度調整後排出係数0.787kg-CO₂/kWhを使用した。

・()内の数値は、基準年(2019年度)実績値に対する削減率を示す。

・化学物質は使用していないので、目標から除外した。

9-2.環境経営計画

・2022年度の運用成績が概ね良好であったため、次年度の環境経営計画は現計画を継続して以下のとおりとします。

環境経営目標項目		具体的な取組(活動・管理・実施項目)		スケジュール
1.二酸化炭素排出量の削減	(1)電力使用量の削減	①調温度適正化・表示確認	適切な温度管理 夏冷房26度 冬暖房20度 冷房期:7月～9月 暖房期:12月～2月	
			⇒エアコンに温度設定表示	通年
			⇒外出時・退社時には各部屋の最終退場者が電源OFFの徹底	通年
		②照明・PC電源不要時のOFFの推進	こまめな消灯励行 事務機器の節電	通年
			⇒外出時・退社時には使用しているパソコン・事務機器の電源OFFの徹底	通年
		③エアコン清掃の実施	半年に一度の一斉清掃の実施	通年
	⇒月2回の4S清掃時にチェックし、特に夏期はフィルターの清掃をこまめにする		通年	
	(2)ガソリン使用量の削減	④エコドライブ推進	停車中のアイドリングストップの実施	通年
			⇒運転方法の配慮 急発進・急停車・空ふかしなどをしない	通年
⑤建設重機の省エネ運転		⇒現場規模に見合った重機を使用する	通年	
	⇒建設車両、重機の無駄なアイドリングを避ける、回転数の適正化	通年		
2.水使用量の削減		①節水の徹底	日常の節水・漏水の点検	通年
			節水の励行・洗車は必要最小限とする	通年
3.廃棄物排出量の削減	(1)一般廃棄物排出量の削減	①裏紙使用ルールの徹底	チェック時や社内使用書類等の裏紙使用の徹底	通年
			⇒印刷ミス・ミスコピーの削減	通年
			⇒電子媒体(E-mail,スキャン,クラウド等)を活用し、紙資料の削減	通年
	(2)産業廃棄物排出量の削減	①分別ルールの徹底	品目分別の細分化で資源ごみのリサイクルを推進する	通年
			②廃棄物現場の整備	分別ごみ置き場の設置 ごみを混ぜない
		③産廃業者との契約書の確認	契約書の取交しの確認	通年
		④マニフェストの管理方法の確立	マニフェスト用紙を現場毎から工事部の一元管理	通年
4.グリーン購入の推進		①グリーン購入品の推進	グリーン購入の推進のための環境学習を取り入れる	通年
		②エコ商品の購入の推進	エコ事務用品の購入の拡大	通年

10.環境関連法規等の遵守状況・違反と訴訟等の有無

- ・当社が遵守すべき主要な環境関連法等は以下のとおりです。
- ・2022年度運用期間終了後に法令遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの苦情、訴訟も過去3年間ありませんでした。

区分	法律・法令・規制等の名称	適用事項等	遵守評価
基本・一般	環境基本法	公害防止、廃棄物への対応、リサイクル、行政への協力	○
	建築基準法	石綿含む含有建材の使用禁止	-
	電気事業法	建設業許可	○
	電気工事士法	電気工事士免状	○
	建設業法	建設業許可制度	-
	地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス排出量の削減措置、行政施策への協力	○
	沖縄県環境基本条例	環境の保全及び創造に関する基本施策	○
	沖縄県生活環境保全条例	環境への負荷の低減	○
	ちゅら島環境美化条例	環境美化	○
環境	廃棄物処理法	保管基準の遵守	○
		委託基準の遵守	○
		管理票(マニフェスト)の交付	○
		管理票の定期報告	○
	建設リサイクル法	対象建設工事の届出、再資源化の実施、実施の報告	-
	自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き渡し義務	-
	家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	-
フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化	○	
労働	労働安全衛生法	統括安全衛生管理者、安全管理者・衛生管理者の選任・届出	○
		職場における労働者の安全と健康を確保	○
		快適な職場環境の形成	○
		健康診断の実施	○

備考) 遵守評価区分 ○:遵守、×:不遵守、-:該当なし

2023年8月31日

南西電設株式会社
環境管理責任者 新垣 淳

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

- ・2022年度運用期間における代表者による取組状況の全体評価と見直し結果は、以下のとおりです。
- ・二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減に関して、目標を達成することができました。太陽光発電設備やLED照明による省エネ効果、節水機器の利用や節水シールによる社員の意識づけを年間を通して継続した結果として、電気使用量と水使用量削減に貢献したと考えています。
- ・また、月2回の4S実施日に行った換気扇の清掃や空調機のフィルター清掃等も労働環境のみならず、電気使用量の削減に貢献したと考えており、これからも社員の意識向上と二酸化炭素排出量の削減に努力していきます。

項目		評価の内容
全体評価	環境の取組は適切に実施されているか	環境提案、二酸化炭素排出量の削減、ガソリン使用量の削減、電力使用量の削減については適切に取組が行われています。
	環境経営システムが有効に機能しているか	システムについても問題なく有効に機能しています。
見直し・指示	環境経営方針	特になし
	環境経営目標	軽油使用量の削減目標は、現場使用実態に合わせて見直していきます。
	環境経営計画	
	実施体制	特になし



2023年8月25日

南西電設株式会社